

## 巻 頭 言

### 紀要第 8 号発刊によせて

『埼玉医科大学看護学科紀要』は平成 20（2008）年 3 月に創刊され、今年度は第 8 号の発刊を迎えました。

2014 年は、広島での土砂災害、大型台風の関東上陸、御岳山の噴火などの大きな天災が続きました。社会的には、消費税増税、衆議院解散総選挙もあり、私たちの生活する環境や社会の大きな変化を感じた 1 年でした。ところで、社会の変化にともない、大学教育もまた変化することを求められます。人口の高齢化が深刻な問題となり医療への期待が高まり、看護実践力の育成やチーム医療を推進できる医療人としての人格形成が教育上の課題となっています。また一方で、大学資源の有効活用と大学教育の質の向上をめざした地域貢献や国際化も、要求されるようになりました。大学として要請されるこうした活動も増え、年間を通して実習があり、演習が多く、そしてその準備がある看護学科の教員は、多忙極まりない日常をおくっています。研究をするのは、「大学教員であれば当たり前」でありたいと思いますが、教育活動とその関連業務に追われ、研究は、「つい、後回し」となることが多いのが現状です。そのような中、なんとか時間を捻出し、続けてきた研究成果を学会発表するに至る教員もおられます。そのプロセスの全てが努力の結晶です。しかし、ここで力尽きることが多く、改めて学会誌に投稿するとなると、さらにモチベーションを上げ、エネルギーを出さなければならず、ときには、あきらめてしまうこともあるのではないのでしょうか。

今回の投稿数は 3 編ですが、現状に屈せずに最後まで研究に取り組んだ方々の力作です。

本学の紀要には査読システムがありますので、投稿者と査読者のやり取りの中で論文が精錬されていく過程を経ます。単に研究活動の成果を形にするだけでなく、この紀要が、投稿者、査読者、紀要の読者のそれぞれの立場で相互に学習する機会、また、研究について語りあうきっかけになれば幸いに思います。最後になりましたが、発刊に際してご尽力いただいた紀要委員の皆様と査読をいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

埼玉医科大学保健医療学部看護学科

学科長 千田 みゆき